

# 財政状況等一覧表(平成18年度)

団体名	佐賀県太良町
-----	--------

## 1 一般会計及び特別会計の財政状況(主として普通会計に係るもの)

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの繰入金	備考
一般会計	4,560	4,492	68	60	4,804	57	基金から76百万円繰入
山林特別会計	28	25	3	3	—	—	基金から10百万円繰入
普通会計	4,589	4,518	71	64	4,804	62	基金から86百万円繰入

## 2 1以外の特別会計の財政状況(公営事業会計に係るもの)

(百万円)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	不良債務 (実質収支)	地方債現在高	他会計からの繰入金	累積欠損金	備考(経常収支)
水道事業会計	52	48	4	—	66	—	0	法適(経常収支:107.9)
病院事業会計	696	968	△ 272	—	1,827	113	383	法適(経常収支:85.0)
簡易水道事業会計	(歳入) 81	(歳出) 78	(形式収支) 3	(実質収支) 3	250	11	—	
下水道事業会計	(歳入) 54	(歳出) 52	(形式収支) 2	(実質収支) 2	341	42	—	
老人保健医療事業会計	(歳入) 1,444	(歳出) 1,439	(形式収支) 5	(実質収支) 5	—	150	—	
国民健康保険事業会計	(歳入) 1,637	(歳出) 1,521	(形式収支) 116	(実質収支) 116	—	133	—	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。法適用企業には備考欄に法適と記載されている。

2. 不良債務が～百万円となるときは、「△～」と表記している。

3. 備考欄の括弧内の数値は経常収支比率である。(3関係する一部事務組合の財政状況も同様)

## 3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円、%)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	形式収支 (純損益)	実質収支 (不良債務)	地方債現在高	当該団体の負担割合	累積欠損金	備考(経常収支)
佐賀県市町村消防団員公務災害補償組合	58	56	2	2	—	2.7	—	
佐賀県市町村職員退職手当組合	3,718	1,506	2,212	2,207	—	3.5	—	
鹿島・藤津地区衛生施設組合	388	365	23	23	578	13.5	—	
佐賀県自治会館組合	50	26	24	24	—	—	—	
佐賀県市町村交通災害共済組合	102	95	7	7	—	2.4	—	
杵藤地区広域市町村圏組合	3,766	3,679	87	87	1,930	5.7	—	一般会計 ふるさと市町村圏組合特別会計
杵藤地区広域市町村圏組合(介護保険特別会計)	13,707	12,748	959	959	298	6.9	—	
佐賀県市町村議会議員公務災害補償等組合	3	1	2	2	—	5.8	—	
佐賀県市町村非常勤職員公務災害補償等組合	9	5	4	4	—	3.5	—	
佐賀県後期高齢者医療広域連合	21	7	14	14	—	1.7	—	

## 4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益 (千円)	資本又は 正味財産 (千円)	当該団体か らの出資金 (千円)	当該団体か らの補助金 (千円)	当該団体か らの貸付金 (千円)	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	備考
—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

## 5 財政指数等

(百万円、%、人)

財政力指数	0.266	実質収支比率	2.3%
実質公債費比率	10.6%	経常収支比率	93.4%
積立金現在高(普通会計に係るもの)	4,085	標準財政規模(A)	2,757
人口	10,660	臨時財政対策債発行可能額(B)	172
		合計(A)+(B)	2,929

(注) 1. 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3力年平均である。

2. 人口とは平成17年度の国勢調査における人口である。